

滋賀県出土の和同開珎

坂田 孝彦

1. はじめに

和同開珎の滋賀県での集成作業は、日永氏が行った集成（葛野他 1985）が最初で、のち栄原氏が集成を行っている（栄原 1993 b）。2000 年に行われた出土銭貨研究会北陸大会で、栄原氏の表を基軸にして筆者が修正・加筆を行ったのち（坂田 2000）、辻川氏がさらに修正を行っている（辻川 2007）。

今回、辻川氏の集成を元にして一部修正加筆したものが、集成表である。なお辻川氏の集成表は、皇朝銭全てと共に辻川（2007）に掲載されている。

2. 事例の整理

滋賀県内、旧近江国では、55 遺跡 157 事例で、613 枚が出土している。ただ、これらを全て追跡調査はできていない。枚数については、遺跡数、事例数ともにほぼ実数に近いものと思われる。銭種については、確認の限り新和同である。

以下事例を概ね出土状況ごとに紹介したい。

（1）祭祀関連

①大溝などからの出土例

斗西遺跡では、7 世紀には竪穴建物が 4 棟検出されているだけであった状況から、8 世紀前半には掘立柱建物と竪穴建物が混在した状況への集落の変化が確認されている。これらは、ほぼ磁北に統一方位を持っているようであり、集落としての統制がとられた状況であるが、官衙の様相は認められない。和同開珎の出土地点は、集落に隣接する大溝の SD1 と SD2 肩付近から出土している。

観音寺城下町遺跡では、老蘇森に隣接した湿地部分から出土している。500m 離れているが、8 世紀の『高殿』と墨書された須恵器が出土していることから、集落と祭祀場所との関わりが考えられる。

これらの事例は、大溝などを祭祀場に和同開珎を使用する形態があったことを示すと考えられる。

②井戸などからの出土例

中兵庫遺跡では、掘立柱建物 5 棟や、門・柵などが検出されている。和同開珎は、その中の井戸土抗 169 で出土している。井戸は、丸太刳り貫きの井戸枠の掘方から出土している。遺構は確認されていないものの、立地を見てこの付近に港湾とその集落の存在も否定できない。

矢倉口遺跡では、8 世紀前半から 10 世紀前半まで存続したと考えられる方位を統一した集落

が確認されている。集落の最盛期は8世紀前半から9世紀前半までで、SE06は、最下層から須恵器壺A、土師器壺Aと蓋Bが井戸底部に置かれた状態で出土し、供伴して、皇朝銭20枚が壺外に置かれて出土している。皇朝銭は、和同開珎1枚・萬年通寶6枚・神功開寶13枚。土器は、平城宮Ⅳから平城宮Ⅴ、井戸が築かれたのは、8世紀後半と考えられる。

野畑遺跡では、8世紀の井戸SE004から第2期の井戸枠の下、第1期の井戸枠外にて出土している。

③港湾・架橋等の出土事例

大中の湖南遺跡では、突堤の先端から和同開珎1枚が出土している。この遺跡は、8～9世紀が遺跡の最も繁栄する時期で、検出された突堤は、この集落の港湾部分と考えられる。

唐橋遺跡での和同開珎は、100枚が第3橋の橋桁周囲に広く分布して出土しており、特に橋桁下付近が多い。調査では、ほぼ同レベルであり1枚のみ別位置で出土している。このことから明らかな意図が感じられる。皇朝十二銭も同じ状況である。しかし中世以降の銭貨は、このような意図的な状況で出土していない。

④埋納遺構として検出された事例

穴太廃寺跡は、7世紀中葉から11世紀末まで存続した古代寺院跡で、創建寺院と再建寺院が明確に確認できる。再建寺院は、大津宮と方位をそろえていることから、関連が深いと考えられる。崇福寺は穴太廃寺・南滋賀町廃寺と共に大津宮との関連が深く、金堂、弥勒堂の基壇から和同開珎が出土している。塔心礎には無文銀銭12枚が出土している。穴太遺跡も大津宮に関連する古代集落と考えられている。集落の祭祀と考えられる祭祀遺構No.3とNo.1で埋納された状態で出土している。南滋賀遺跡も、大津宮関連でここからは、ピットに土師器皿が2枚重なり、その周囲に和同開珎が5枚出土している。

一方近江国庁では、埋納遺構に9枚の和同開珎が出土している。これは、構成する建物の地鎮と考えられる状況である。

夕日ヶ丘北遺跡では、埋納土抗J221で57枚、J224から6枚が出土している。付属の掘立柱建物が8世紀末から9世紀初頭に位置づけられることから、このころ埋納されたものと考えられる宮ノ前遺跡は、土師器甕内から緡となった100枚が出土している。6世紀後半から9世紀にかけての堅穴建物と掘立柱建物等が検出されている。

(2) 湖底からの出土

主に沖ノ島赤鼻遺跡、大中の湖南遺跡、松原内湖、入江内湖の事例があげられる。沖ノ島赤鼻遺跡は、和同開珎71枚・萬年通寶83枚・神功開寶280枚という出土であり、何らかの過失によりその地に集中した可能性がある。大中の湖南遺跡の事例でも和同開珎5枚を含む167枚がほぼ集中をして出土しているが、斗西遺跡や唐橋遺跡などの意図的なものを感じられない。松原内湖、入江内湖も同様である。

(3) その他

宮町遺跡のように、整地された箇所からの出土例がある。また蛭口宮遺跡等、4事例に墓と記載されるものがあるが、確認ができなかった。

3. 分布の様相

まず宮跡と関連寺院、国庁跡と関連遺跡と拠点集落及びそれに関連する祭祀場であろう場所から出土しているといえる。特殊な湖底遺跡などを除くと大津宮と関連遺跡からの出土事例が多い傾向にある。また近江国庁でもその出土が確認されている。全国的に見ても、大和・山城・摂津などの出土例が多く、短期間であっても古代の宮があったことによる影響であることは否定できない。

つぎに滋賀県全体の地図を見ると、出土位置は、東海道・東山道等の陸路、また河川、湖に沿った港湾に近い水路にほぼ当てはまる。ただ、郡衙的遺跡や関連寺院からは全く出土していない。このことは、出土地点が一有力集落等ではなく朝廷やそれに近いところの影響地域であった可能性があると思われる。

4. おわりに

以上、集成し、若干整理をしてみた。残念ながら報告書や研究に記載される和同開珎を現在全て確認できない上、出土状況もはっきりしないものが多く、あまり明確な検討が出来ないのが現状である。今後機会ごとに表を修正し、確かな実態を把握していく作業を継続して、資料を確かなものとしていきたい。

〔参考文献〕

- 葛野泰樹・日永伊久男・中川正人(1985)「蒲生郡日野町宮ノ前遺跡」『ほ場整備関係遺跡発掘調査報告書』
VII-4, 滋賀県教育委員会・財団法人滋賀県文化財保護協会
- 栄原永遠男(1993b)「日本古代出土銭貨一覧表」『日本古代銭貨流通史の研究』塙書房
- 坂田孝彦(2000)「近江国」出土銭貨研究会北陸ブロック編『畿内・七道からみた古代銭貨』
出土銭貨研究会
- 辻川哲朗(2007)『夕日ヶ丘北遺跡・大篠原西遺跡』(県営農業農村整備関係(県営田園交流基盤・田園空間整備)遺跡発掘調査報告書) 滋賀県教育委員会・(財) 滋賀県文化財保護協会
- 『埋納された古代銭貨 無文銀銭と皇朝十二銭』(2004 年度栗東市出土文化財センター調査研究報告会資料)

〔報告書等〕(辻川哲朗氏 2007 作成表に加筆・修正)

<あ行>

- 青山 均・福田 敬(1992)『一般国道 161 号(西大津バイパス)建設に伴う上高砂遺跡発掘調査報告書』(大津市埋蔵文化財調査報告書(20))大津市教育委員会
- 青山 均・福田 敬(2007)『南滋賀廃寺発掘調査報告書』(大津市埋蔵文化財調査報告書(42))

大津市教育委員会

青山 均・福田 敬・吉水真彦(2002)『大津市南消防署・晴嵐保育園建設に伴う石山国分遺跡発掘調査報告書』(大津市埋蔵文化財調査報告書(33))大津市教育委員会

雨森智美(1999)「高野遺跡」『1980～1982年度栗東町埋蔵文化財発掘調査資料集』

栗東町教育委員会・財団法人栗東町文化体育振興事業団

伊藤 潔(2003)『福満寺遺跡・大戌亥遺跡発掘調査報告書』(長浜市埋蔵文化財調査資料第21集)

長浜市教育委員会

稲葉隆宣(1996)『北郷里小遺跡 上寺地遺跡』(ほ場整備関係遺跡発掘調査報告書XXIII-1)

滋賀県教育委員会・財団法人滋賀県文化財保護協会

岩崎 茂(1988)『益須寺遺跡発掘調査報告書』(守山市文化財調査報告書第29冊)守山市教育委員会

伊庭 功(2004)「2-4 史跡大中の湖南遺跡」『緊急雇用創出特別対策事業に伴う出土文化財資料化収納業務報告書I』滋賀県教育委員会・財団法人滋賀県文化財保護協会

植田文雄(1988)『斗西遺跡』(能登川町埋蔵文化財調査報告書第10集)能登川町教育委員会

植田文雄(1993)『斗西遺跡(2次調査)』(能登川町埋蔵文化財調査報告書第27集)能登川町教育委員会

植田文雄(1993)『斗西遺跡(3次調査)』(能登川町埋蔵文化財調査報告書第31集)能登川町教育委員会

内田保之(1996)『尼子南遺跡2 尼子西遺跡1』(ほ場整備関係遺跡発掘調査報告書XXIII-4)

滋賀県教育委員会・財団法人滋賀県文化財保護協会

内田保之(2004)「無文銀銭の流通と埋納」『埋納された古代銭貨貨 無文銀銭と皇朝十二銭』

(2004年度栗東市出土文化財センター調査研究報告会資料)

大津市教育委員会編(1959)『南滋賀遺跡調査概要』

大崎哲人・小島孝修(2007)『関津遺跡I』(ほ場整備関係(経営体育成基盤整備)遺跡発掘調査報告書34-2)

滋賀県教育委員会・財団法人滋賀県文化財保護協会

大沼芳幸・中村健二(1992)『唐橋遺跡』(瀬田川浚渫工事関連埋蔵文化財発掘調査報告書II)

滋賀県教育委員会・財団法人滋賀県文化財保護協会

大沼芳幸・奈良俊哉(1994)『主要地方道大津・能登川・長浜線改良工事に伴う加茂遺跡・一ノ坪遺跡発掘調査報告書』滋賀県教育委員会・財団法人滋賀県文化財保護協会

滋賀県教育委員会・財団法人滋賀県文化財保護協会

大沼芳幸・八百谷圭介(2002)『史跡近江国庁跡附惣山遺跡・青江遺跡調査整備事業報告書I』

滋賀県教育委員会

大橋信弥(1988)『県道片岡栗東線特殊改良第1種工事に伴う芦浦遺跡発掘調査報告書II』

滋賀県教育委員会・財団法人滋賀県文化財保護協会

大橋信弥・山崎秀二・谷口 徹・辻 広志(1980)『服部遺跡発掘調査概報』守山市・守山市教育委員会

大橋信弥・谷口智樹・平井寿一・大崎隆志(1987)『矢倉口遺跡発掘調査報告書』(国道1号京滋バイパス関連遺跡発掘調査報告書第3冊)滋賀県教育委員会・草津市教育委員会・財団法人滋賀県文化財保護協会

大橋清三(不明)「瀬田風土誌(14) 鋳物町」『清流』瀬田町文化協会

小熊秀明(1987)『中畑田遺跡発掘調査概要報告書』(志賀町埋蔵文化財調査報告書第1集) 志賀町教育委員会

尾崎好則(1984)「浮御堂遺跡発掘調査」, 滋賀総合研究所編『びわ湖と埋文』
水資源開発公団琵琶湖開発事業建設部

<か行>

勝見孝彦(1994)「滋賀県内の皇朝十二銭の出土傾向」『出土銭貨』1, 出土銭貨研究会

葛野泰樹・日永伊久男・中川正人(1985)「蒲生郡日野町宮ノ前遺跡」『ほ場整備関係遺跡発掘調査報告書』
VII-4, 滋賀県教育委員会・財団法人滋賀県文化財保護協会

葛原秀雄(2004)「埋納された多量の乾元大寶 高島郡今津町弘川佃遺跡」『埋納された古代銭貨貨 無文銀
銭と皇朝十二銭』(2004年度栗東市出土文化財センター調査研究報告会資料)

黒崎直(1980)「近畿における8・9世紀の墳墓」『研究論集VI』(奈良国立文化財研究所学報第38冊)
奈良国立文化財研究所

近藤 広(1990)「2) 特殊遺物について」, 平井寿一・近藤 広・雨森智美・佐伯英樹・木村元浩『岡遺
跡
発掘調査報告書』栗東町教育委員会・財団法人栗東町文化体育振興事業団

<さ行>

坂梨咲子(2002)「301. 安土町大中の湖南遺跡の調査について」『滋賀文化財だより』277
財団法人滋賀県文化財保護協会

佐藤宗男(1968)「大中の湖南遺跡出土の皇朝十二銭について」『滋賀文化財研究所月』4
滋賀文化財研究所

佐伯英樹(1992)「40. 岡遺跡」『栗東町埋蔵文化財発掘調査1991年度年報』
財団法人栗東町文化体育振興事業団

佐伯英樹(2004)「」『埋納された古代銭貨貨 無文銀銭と皇朝十二銭』(2004年度栗東市出土文化財センタ
ー調査研究報告会資料)

栄原永遠男(1993b)「日本古代出土銭貨一覧表」『日本古代銭貨流通史の研究』塙書房

坂田孝彦(2000)「近江国」出土銭貨研究会北陸ブロック編『畿内・七道からみた古代銭貨貨』
出土銭貨研究会

坂田孝彦(2004)『観音寺城下町遺跡発掘調査報告書』(安土町埋蔵文化財調査報告書第42集)
安土町教育委員会

滋賀県教育委員会編(1959)『滋賀県遺跡目録』

滋賀県教育委員会編(1966)『滋賀県遺跡目録(第2輯)』

滋賀県系史蹟名勝天然記念物調査会(1936)「和同開珎出土地」『滋賀縣史蹟名勝天然記念物概要』

滋賀県埋蔵文化財センター編(2001)「古代の港湾施設がみつかる」『滋賀埋文ニュース』254

滋賀県埋蔵文化財センター編(2004a)「湖西の大規模複合遺跡」『滋賀埋文ニュース』289

滋賀県埋蔵文化財センター編(2004b)「大円寺遺跡の調査」『滋賀埋文ニュース』291

滋賀県埋蔵文化財センター編(2004c)「両側に側溝を持つ道路遺構を検出」『滋賀埋文ニュース』292

- 滋賀県坂田郡教育会編(1941)『改訂坂田郡志 第1巻』(1971年, 名著出版復刊)
- 滋賀県立近江風土記の丘資料館(1976)『常設目録』
- 滋賀県立琵琶湖文化館(1974)『奈良時代の文化』(近江文化史シリーズ第4回展パンフレット)
- 重岡 卓(2005)「金剛寺遺跡・金剛寺城遺跡」『緊急雇用創出特別対策事業に伴う出土文化財資料化収納業務報告書Ⅱ』滋賀県教育委員会・財団法人滋賀県文化財保護協会
- 柴田 實(1941)「大津京趾(下)崇福寺趾」『滋賀県史蹟調査報告』10, 滋賀県
- 島津知子(2002)『矢倉古墳群第1次発掘調査概要報告書』(草津市文化財調査報告書第45集)
草津市教育委員会
- 白井忠雄(1985)「高島郡高島町永田遺跡」『ほ場整備関係遺跡発掘調査報告書Ⅶ-8』
滋賀県教育委員会・財団法人滋賀県文化財保護協会
- 白井順子・横田洋三・宇野優子・高田広司・寿福 滋(1985)「高島郡マキノ町小荒路十寺遺跡」
『ほ場整備関係遺跡発掘調査報告書Ⅶ-8』滋賀県教育委員会・財団法人滋賀県文化財保護協会
- 鈴木公章・栄原永遠男・金原正明・金原正子・橋本義則・高橋加奈子『平成5年度遺跡発掘事前総合調査事
業にかかると紫香楽宮関連遺跡発掘調査報告』(信楽町文化財報告書第8集)信楽町教育委員会
- 瀬口眞司・中川治美(2002)『木部遺跡Ⅰ』(県道荒見上野近江八幡線改良工事に伴う中主町内遺跡(Ⅶ))
滋賀県教育委員会・財団法人滋賀県文化財保護協会
- <た行>
- 多賀町史編さん委員会編(1991)『多賀町史 上』多賀町
- 瀧口泰孝(2007)「第1章 木部遺跡」『平成17年度野洲市埋蔵文化財調査概要報告書2』野洲市教育委員会
- 瀧津武雄・西脇 康編『日本史小百科 貨幣』東京堂出版
- 田中久雄(1992)『一般国道161号線(西大津バイパス)建設に伴う太鼓塚遺跡発掘調査報告書』(大津市埋蔵文化財調査報告書(19))大津市教育委員会
- 辻川哲朗(2002)「2-3. 東光寺遺跡」『緊急地域雇用特別交付金事業に伴う出土文化財管理業務報告書』
滋賀県教育委員会・財団法人滋賀県文化財保護協会
- 辻川哲朗(2004)「和同開珎による地鎮行為―野洲町夕日ヶ丘北遺跡の事例から―」『埋納された古代銭貨貨無文銀銭と皇朝十二銭』(2004年度栗東市出土文化財センター調査研究報告会資料)
- 辻川哲朗(2007)『夕日ヶ丘北遺跡・大篠原西遺跡』(県営窯業農村整備関係(県営田園交流基盤・田園空間整備)遺跡発掘調査報告書)滋賀県教育委員会・財団法人滋賀県文化財保護協会
- 徳網克己(1994)「第10章 光相寺遺跡第22次発掘調査概要」『平成4年度中主町内遺跡発掘調査年報』(中主町文化財調査報告書第41集)中主町教育委員会
- 徳網克己(1996)「滋賀県中主町出土の皇朝十二銭」『出土銭貨』6, 出土銭貨研究会
- 徳網克己(2004)「第3章 西河原遺跡第11次発掘調査」『平成15年度中主町内遺跡発掘調査年報』(中主町文化財調査報告書第70集)中主町教育委員会
- <な行>

- 中井 均(1988)『米原町内遺跡分布調査報告書』米原町教育委員会
- 中川泉三(1926)「近江栗太郡発掘の古陶壺」『考古学雑誌』16-9, 日本考古学会
- 中川通士(1987)『近江町内遺跡分布調査報告書』(近江町文化財調査報告1)近江町教育委員会
- 仲川 靖・林 博通・中川正人(2000)『一般国道161号(西大津バイパス)建設に伴う穴太遺跡発掘調査報告Ⅲ』滋賀県教育委員会・財団法人滋賀県文化財保護協会
- 仲川 靖・林 博通・中川正人・中保利一郎・松本嘉代・畑 大介(2001)『一般国道161号(西大津バイパス)建設に伴う穴太遺跡発掘調査報告書Ⅳ』滋賀県教育委員会・財団法人滋賀県文化財保護協会
- 中村健二・中川治美・三宅 弘・北原 治(2001)『中兵庫遺跡』(一般県道山田・草津線単独改良工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書)滋賀県教育委員会・財団法人滋賀県文化財保護協会
- 中村幸代(2003)「第3章 辻町遺跡(2)」『野洲町文化財年報2000』(野洲町文化財資料集2002-2)野洲町教育委員会
- 奈良俊哉・田井中洋介(1995)『浄土寺遺跡・野田代遺跡・風呂流遺跡』(県営かんがい排水事業関連遺跡発掘調査報告書X I-3)滋賀県教育委員会・財団法人滋賀県文化財保護協会
- 西 邦和(1992)『中沢遺跡(第9次)』(能登川町埋蔵文化財調査報告書第25集)能登川町教育委員会
- 西原雄大(2002)『大戊亥遺跡・鴨田遺跡調査報告書』(長浜市埋蔵文化財調査資料第40集)長浜市教育委員会
- <は行>
- 畑中英二・林博通(1993)「(1)57-1 地点発掘調査概要」『南滋賀遺跡』滋賀県教育委員会・財団法人滋賀県文化財保護協会
- 濱 修他(1998)『赤野井湾遺跡』(琵琶湖開発事業関係埋蔵文化財調査報告書第2集)滋賀県教育委員会・財団法人滋賀県文化財保護協会
- 林 博通(1973)『琵琶湖湖岸・湖底遺跡分布調査概要Ⅰ』滋賀県教育委員会・財団法人滋賀県文化財保護協会
- 林 博通(1984)「長尾遺跡の梵鐘製造跡」『古代研究』27, 元興寺文化財研究所
- 肥後和男(1929)「大津京趾の研究」『滋賀県史蹟調査報告』2, 滋賀県保勝会
- 肥後和男(1933a)「錦織町平尾に於ける平安時代の墳墓」『滋賀県史蹟調査報告』5, 滋賀県保勝会
- 肥後和男(1933b)「瀬田廃寺社」『滋賀県史蹟調査報告』5, 滋賀県保勝会
- 日永伊久男(1985)「滋賀県下における和同開珎出土遺跡一覧表」(葛野・日永・中川1985に所収)
- 飛田喜功(1965)「滋賀県蒲生郡安土町大中湖畔芦刈遺跡発見隆平永宝銭の調査」『滋賀県文化財資料』3 滋賀県教育委員会
- 飛田喜功(1969)「大中の湖南遺跡発見隆平永宝の調査」『滋賀文化財研究所月報』12, 滋賀県文化財研究所
- 平井美典・植田弥生・鈴木 茂・新山雅広(2006)『柳遺跡Ⅲ』(草津川改修事業ならびに草津川放水路建設事業に伴う発掘調査報告書X)滋賀県教育委員会・財団法人滋賀県文化財保護協会
- 藤居 朗(1997)『草津川改修関連遺跡発掘調査概要報告書(X I)』(草津市文化財調査報告書28)草津市教育委員会

本田修平(1997)『神ノ木遺跡』(彦根市埋蔵文化財調査報告書第30集)彦根市教育委員会

<ま行>

丸山雄二(1994)「五銖銭をもった人々」『文化財学論集』文化財学論集刊行会

丸山竜平・石原道洋・岡本隆子・喜多貞裕・濱 修・古川 登・渡辺泰子(1984)『日吉・吉住池遺跡発掘調査報告書』(県営かんがい排水事業関連発掘調査報告書Ⅱ-2)滋賀県教育委員会・八日市市教育委員会・財団法人滋賀県文化財保護協会

丸山竜平・兼康保明・岡本隆子(1980)『鴨遺跡』(高島町歴史民俗叢書2)滋賀県教育委員会・高島町教育委員会・財団法人滋賀県文化財保護協会

丸山竜平・西国 弘他(1970)『滋賀県文化財調査報告書第4冊』滋賀県教育委員会事務局文化財保護課
造酒 豊・横田洋三・平井美典・大崎哲人・田中勝弘・中川正人(1988)『横尾山古墳群発掘調査報告書』(一般国道1号(京滋バイパス)関係遺跡発掘調査報告書Ⅱ)滋賀県教育委員会・財団法人滋賀県文化財保護協会

造酒 豊・濱 修(1991)『一般県道野洲中主線改良事業に伴う中北遺跡発掘調査報告書』滋賀県教育委員会・財団法人滋賀県文化財保護協会

水野正好(1969)『大中の湖南遺跡調査概要』(滋賀県文化財調査概要5)滋賀県教育委員会

三宅 弘(1988)『北萱遺跡発掘調査報告書』(草津川改修事業に伴う発掘調査報告書)滋賀県教育委員会・財団法人滋賀県文化財保護協会

宮下睦夫(1990)『益須寺遺跡第15次発掘調査報告書』(守山市文化財調査報告書第39冊)守山市教育委員会

宮崎幹也(1985)「蛇塚遺跡発掘調査報告」『ほ場整備関係遺跡発掘調査報告書XⅡ-2』滋賀県教育委員会・財団法人滋賀県文化財保護協会

<や行>

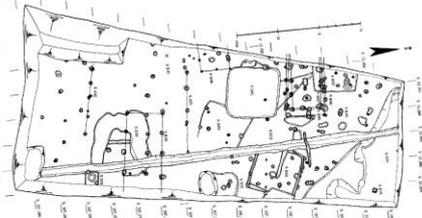
山崎秀二(1977)「守山市赤野井遺跡発掘調査報告」『ほ場整備関係遺跡発掘調査報告書Ⅳ-2』滋賀県教育委員会・財団法人滋賀県文化財保護協会

山崎秀二(1978)「守山市赤野井遺跡」『昭和五十一年度滋賀県文化財調査年報』滋賀県教育委員会・財団法人滋賀県文化財保護協会

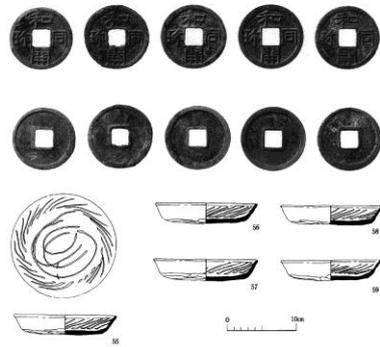
横田洋三(2000)『法光寺遺跡』(ほ場整備関係遺跡発掘調査報告書27-1)滋賀県教育委員会・財団法人滋賀県文化財保護協会

吉田秀則・葛野泰樹・浜崎信司・細川修平・小島孝修(1993)『琵琶湖流域下水道彦根長浜処理区東北部浄化センター建設に伴う松原内湖遺跡発掘調査報告書Ⅰ』滋賀県教育委員会・財団法人滋賀県文化財保護協会

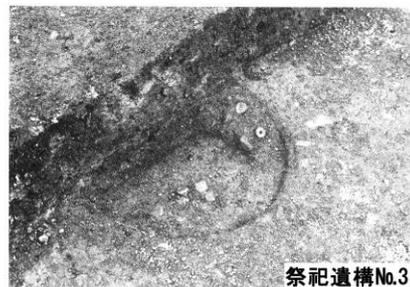
滋賀 1



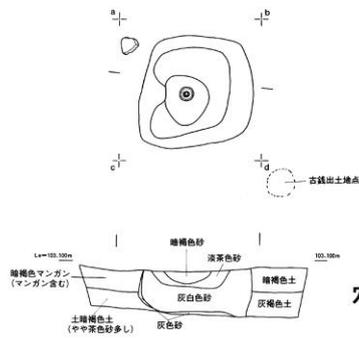
南滋賀遺跡57-1 S X 05



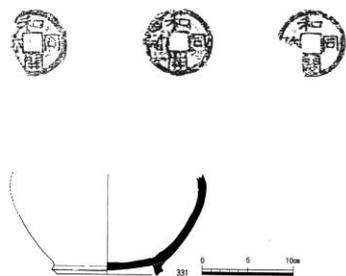
祭祀遺構No.1



祭祀遺構No.3

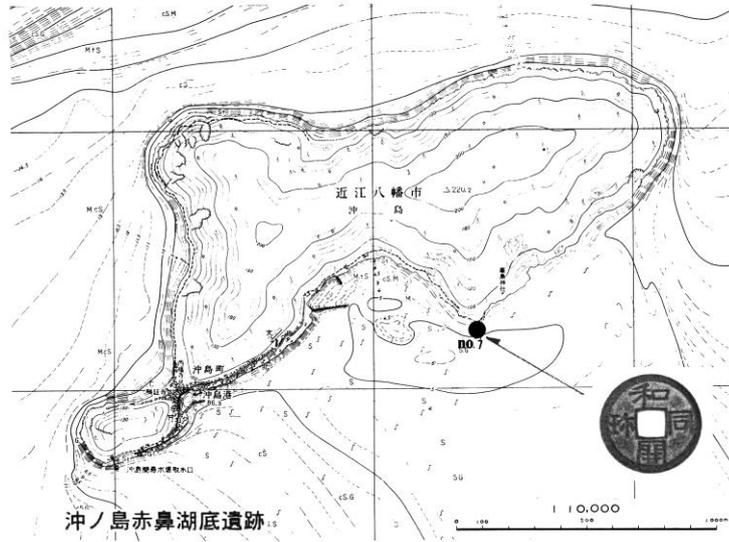
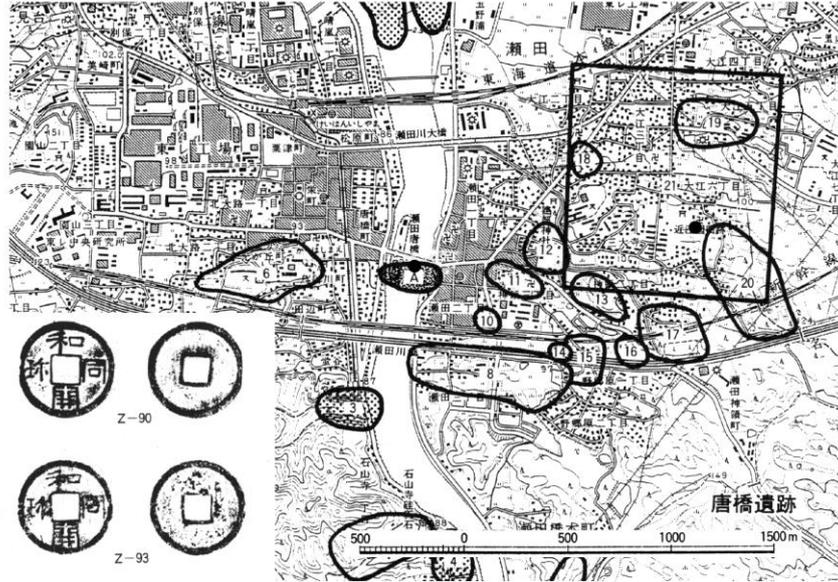


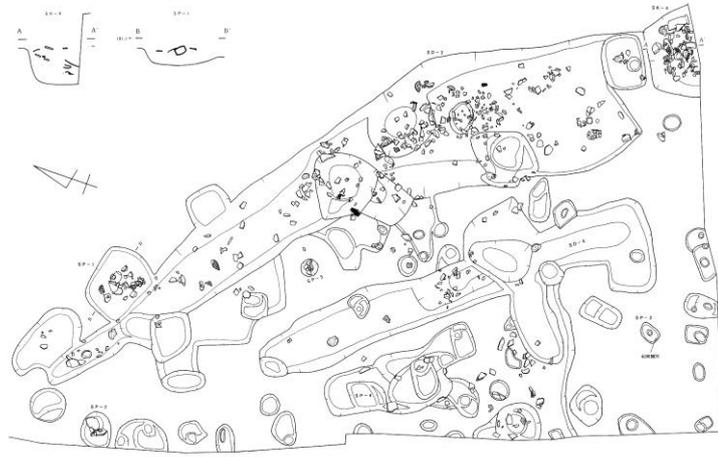
穴太遺跡



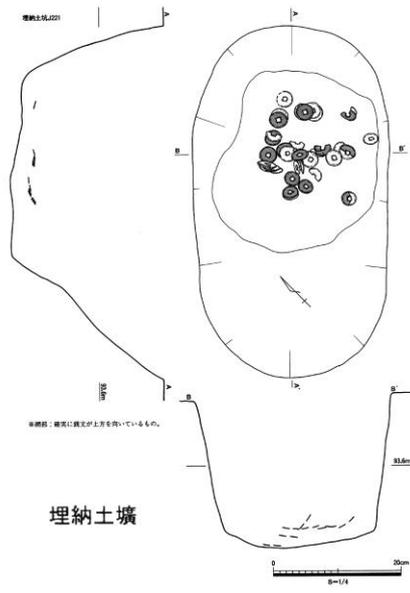
331 0 5 10m

滋賀 2





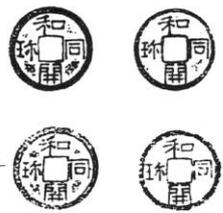
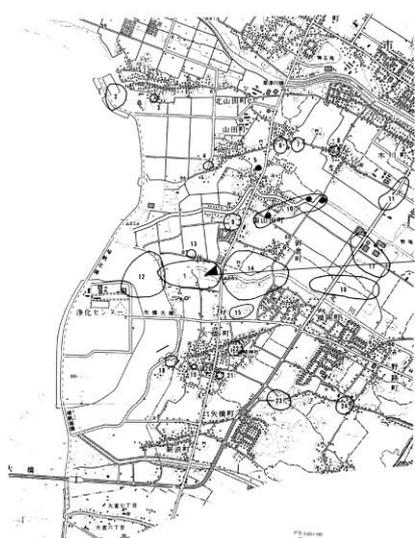
益須寺遺跡



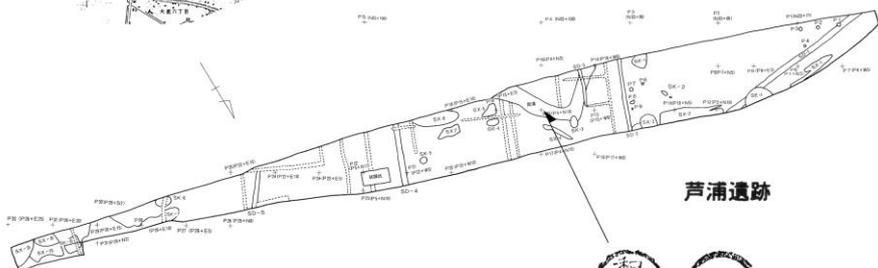
夕日ヶ丘北遺跡



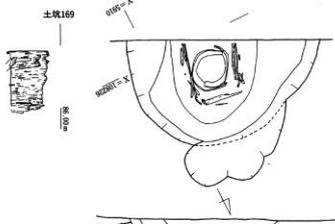
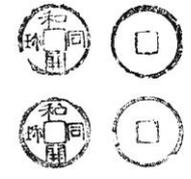
埋納土塚



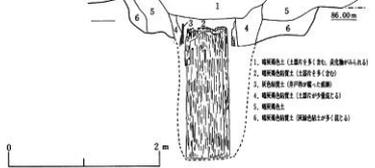
北萱遺跡



芦浦遺跡

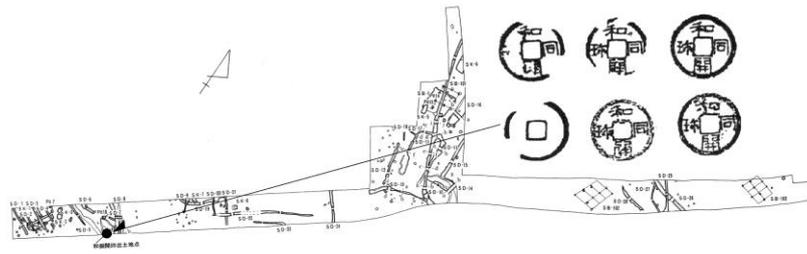


中兵庫遺跡

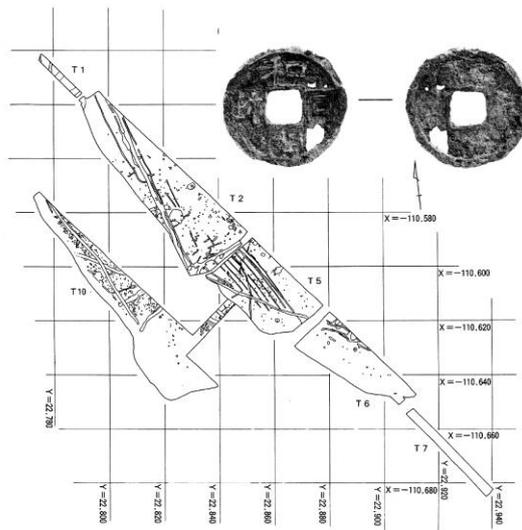
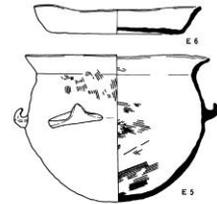


1. 埋藏層 (土層) (埋藏層) (埋藏層) (埋藏層) (埋藏層)
 2. 埋藏層 (埋藏層) (埋藏層) (埋藏層) (埋藏層)
 3. 埋藏層 (埋藏層) (埋藏層) (埋藏層) (埋藏層)
 4. 埋藏層 (埋藏層) (埋藏層) (埋藏層) (埋藏層)
 5. 埋藏層 (埋藏層) (埋藏層) (埋藏層) (埋藏層)

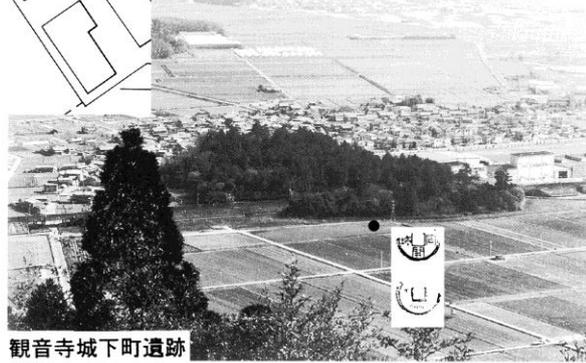
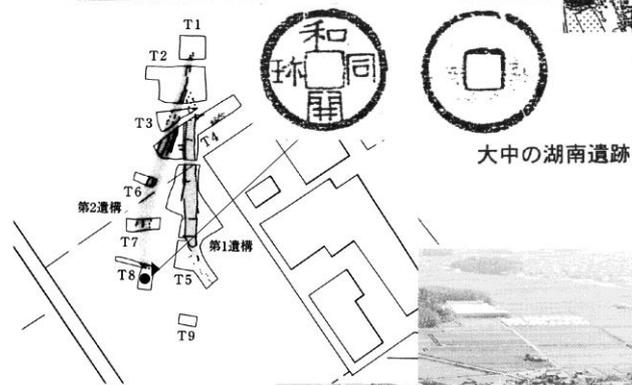


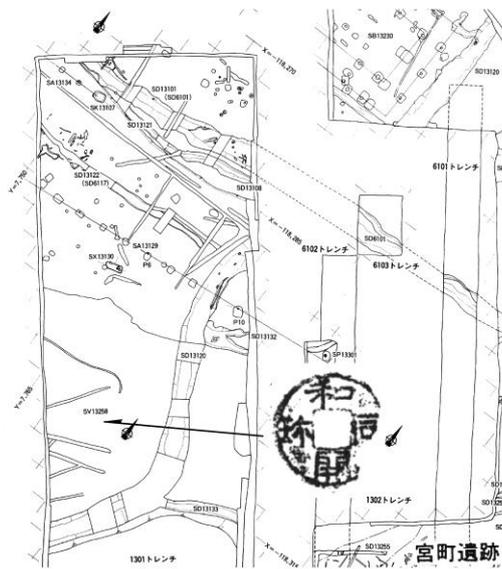
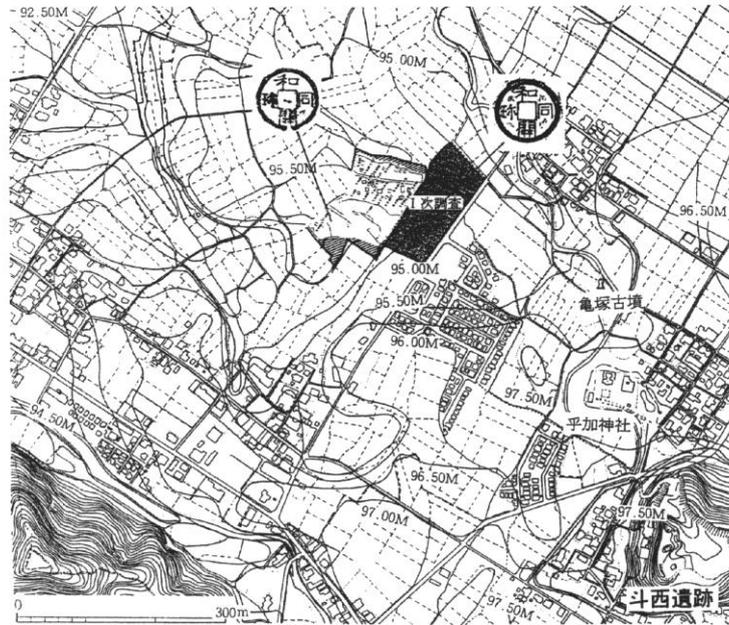


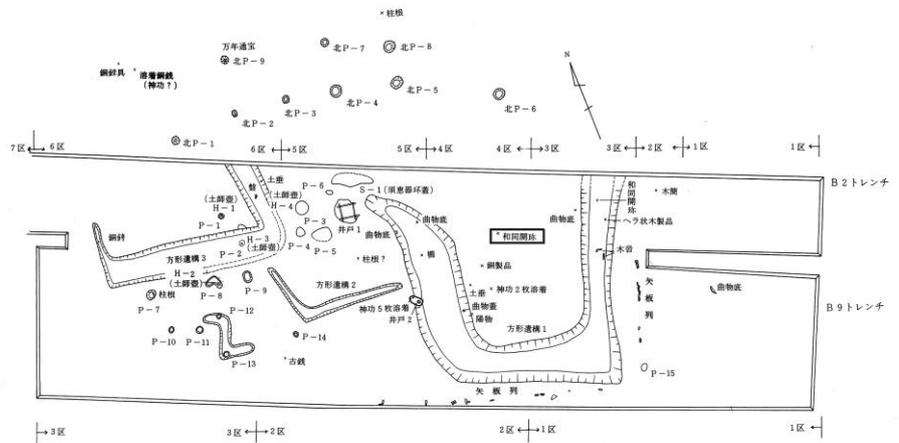
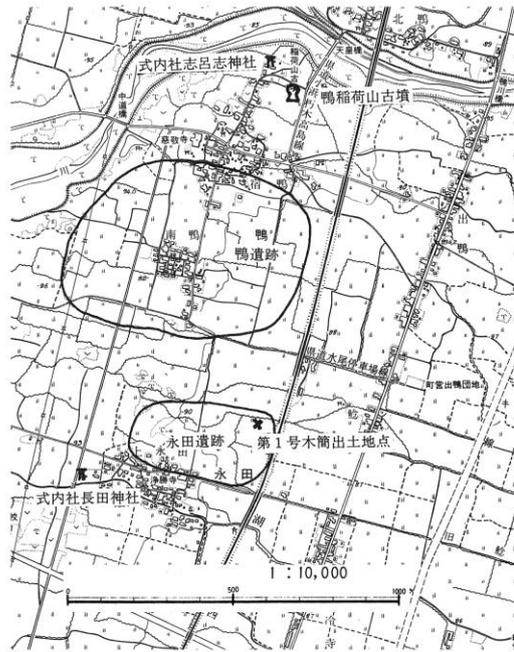
宮ノ前遺跡



風呂流遺跡







第6図 永田遺跡 B2・9トレンチ平面図

